

国土交通省 住生活月間表彰

八田英治元プレ協常務ら

(元大成ユーレック社長、元プレハブ社長)

国土交通省は9月22日、第29回「住生活月間」における功勞者表彰の受賞者(国土交通大臣市街地再開発組合、まちづくり表彰28件、住宅局長16件)を決めた。表彰式は、10月1日に「立町二丁目5番地区第一種市街地再開発事業・デュオビル」(アルカスSASEBO) (長崎市街地再開発組合、まちづくり表彰)で行う。

国土交通大臣表彰(個人) 江原正也(エバー社 一種市街地再開発事業・石巻テック) 住宅リフォーム推進協議会 長、住宅リフォーム推進協議会 技術情報委員長、大井祐子(駿河社長、日本賃貸住宅管理協会理事) 栗原潤一(元ミサホームCSR推進部担当部長、フホーム総合研究所顧問、建築元日本ツーバイフォー建築協会環境・省エネルギー機構自立循環総務部会長) 増淵敏行(レコ環型プロジェクト委員会) ハウス取締役技術部長、プレハブ富田稔(グローバルセンター) 建築協会住宅部会技術分科会社長、日本賃貸住宅管理協会副委員

「フラット35」団信付きに

金融支援機構 身体障害も対象

住宅金融支援機構は、フラット35(買取型)で10月1日の申し込み受け付けから制度改正を実施し、団体信用生命保険(団信)付きの住宅ローンとなる。

新制度では、保険金の支払い要件を身体障害者(障害者となる団信付きの手帳の交付や介護認定等)住宅ローンの提供は国内の公的機関と関連付けて初めてという。

宅建業者数3年連続で増加

国土交通省は9月22日、宅地建物取引業法に基づき免許、監督状況をまとめた。それによると今年3月末時点の宅地建物取引業者数は大臣免許2431業者、知事免許16年度に大臣と知事が

12万985業者で、全体	2006年から8年	
では12万3416業者だった。	減少が続いていたが、	
1年前に比べて、大臣	13年の12万2127業者	
免許は3.1%、知事免	を底に、緩やかに増加し	
許は0.1%増加、全体	ている。	
2431業者、知事免許	でも0.1%増と3年連	続して増えた。

不動産の実務を探る

畑中学

先般、不動産業界内外で大きく騒がれましたが、大手ハウスメーカーが地面師にやらされたニュースが

報を取得し、進歩したコピー技術で偽造書類を精巧につくられるようになった時、本気で嘘をついた人たちが、自らを買い、売り主になりしかり得

REISM 団地リノベでカフェ

東京区部に特化したリノベーション賃貸ブランドを展開するREISM(リズム、東京都渋谷区)が、東京区渋谷区「REISM STAND」(リズムスタンド)として渋谷区鷹谷町の団地グリーンハイム鷹谷の2階に出店した。

同社は2005年の設立時から中古不動産のリノベを手がけてきた。入居者と投資家に豊かに暮らす、楽しく暮らすというテーマでサービス提供してきた。今回のカフェは、「Y our Mom's Cooking Tokyo」をコンセプトに、温める食材を使った家庭料理をメインメニューとして提供する。リノベに携わった経験から、気持がほっこりする空間が実現できるとする。

江戸のみどりに登録

森ビルが管理・運営する「アークヒルズ仙石山森タワー」が、東京都環境局の在来種登録制度「江戸のみどり登録緑地」の優良緑地として登録を受けた。

東京に自然分布している植物を植栽することで、昆虫や鳥などの動物も含めて、東京の生きものに適した環境を回復させる取り組み。民間建築物などの敷地内緑地を登録・公表することで、在来種によ

生物多様性で仙石山森タワー

高低差のある地形や表土を生かし、地域本来の植生をベースとしたスタイイアラカシ、ヤブツバキ、エゴノキなどの多様な在来種の植物を階層的に植栽によって約4000平方メートルの緑地を創出。昆虫や鳥のえさ場や隠れ場所の確保など生き物の生育環境を目的にした装置や水辺の設置などが評価を受けた。

自分らしい生き方 女性4人で意見交換 WBNが日米シンポ

日米女性ビジネスネットワーク協会(WBN、三橋博巳理事長)は9月19日、第2回WBN日米シンポジウムを東京中央区の銀座プロサラム中央会館で開催した。

世界不動産連盟米国支部長のマリア・ラソール氏、朝日エル創業者の岡山慶子氏の講演と、パネリストとして、全米リアルター協会国際委員長のジュテア・サイクス氏、日本賃貸住宅管理協会元会長



「一日を素晴らしい一日にするには、感謝と前向きな考えが必要。音楽、スポーツ、食事など自然体で楽しめる時間を持つこと、そして好奇心を持ち続けることが大切だ。一日に一度、週に一度と優先順位を決めるなど時間管理によって、自分の選り取り入る生活に調和を取り入れるようにしよう」とアドバイスした。

パネリストには、ラソール氏、岡山氏と、全米リアルター協会国際委員長のジュテア・サイクス氏、日本賃貸住宅管理協会元会長

不動産女性塾が出版記念セミナー

不動産女性塾(北澤艶子塾長)は9月20日、今月刊行した同塾初の著作「僕として輝く不動産こそ我が人生」(住宅新報社刊)の出版記念セミナーを東京・浅草で開催し、109人が参加した。

北澤塾長など著者8人が講師を務めた。北澤塾長は、「住まいに関わる不動産は本来、女性に合った仕事。業界で活躍する女性が増えれば、業界のイメージアップにもなる」と起業の動機を語った。

同著は、16年11月に発



「一日を素晴らしい一日にするには、感謝と前向きな考えが必要。音楽、スポーツ、食事など自然体で楽しめる時間を持つこと、そして好奇心を持ち続けることが大切だ。一日に一度、週に一度と優先順位を決めるなど時間管理によって、自分の選り取り入る生活に調和を取り入れるようにしよう」とアドバイスした。

管理士試験受験 9月29日締切り

賃貸経営協議会(会長 末永照雄)は、賃貸不動産経営管理士試験の受験申し込みを受け付けている。ホームページからの願書請求数

「付言活用でトラブル防止」

駿台相続研究会でテーマに講演

「遺言書は書く本人だけでなく、相続人のためにも、親が書いてくれた、行使を抑えることにつながる」と説明した。

読者の皆さまへ

住宅

既購読者専用申込書

(すでに申し込み済の方は必要ありません)

週刊住宅タイムズの送付を希望します。

フリガナ
契約者名
契約者住所
電話番号

